



オンラインでもアンケートのご回答が可能です。
左記 QR コードよりご利用ください。

atelier enjuku
by TOKYO SOCIAL DESIGN
ここは様々な人たちが集まり、
自分の好きなことを表現するア
トリエです。今回もコンサートの内
容に沿ってイラストを描きました。
<https://tokyosocialdesign.jp>

東京文化会館の取り組み

～あらゆる人が音楽で交流できる社会をめざして～

東京文化会館ではアートによる多元共生社会の実現に向けて、アートが持つ「創造性」「協調性」「参加性」を活かし、社会的課題に向き合いながら、人々の生活の質（QOL）の向上や共生社会実現につながる様々な取り組みを行っています。年齢や障害、社会的ハンディキャップのあるなしにかかわらず、あらゆる人々が音楽鑑賞や音楽創造体験に参加できる機会の提供や、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わることができる環境の整備に向けた取り組みを大切にしています。

主催：東京都／東京文化会館（公益財団法人東京都歴史文化財団）

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業（劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
一般財団法人地域創造



Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。

クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する《Enjoy Concerts!》、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

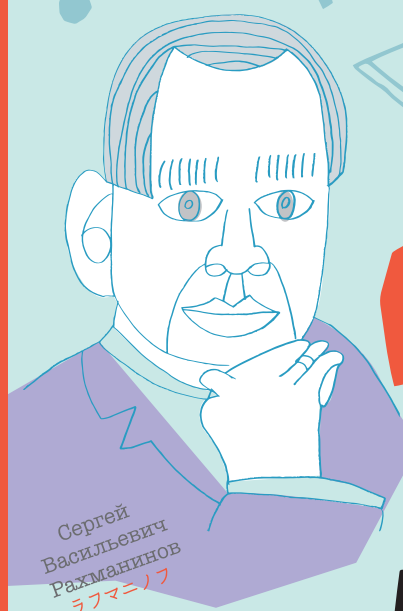
Music Program TOKYO
Workshop Workshop! コンビニアル・プロジェクト

TOKYO BUNKA KAIKAN

Relaxed Performance

リラックス・パフォーマンス

世代、障害をこえて楽しめるコンサート



オーケストラで楽しむ

クラシック

めいぎよく

名曲アラカルト!



れいわ ねん
(令和7年)

2025 6/7 土

14:00-15:00 休憩なし

とうきょう ぶん か かい かん だい
東京文化会館 大ホール

Wolfgang
Amadeus
Mozart
モーツァルト

atelier enjuku by TOKYO SOCIAL DESIGN

リラックス・パフォーマンスへようこそ！

リラックス・パフォーマンスの「リラックス relaxed」は“寛容な”という意味。

少し音をたてても、身体が動いても、大丈夫。

発達障害や自閉症などでホールでの音楽鑑賞に不安がある方も、

耳の聞こえない方や聞こえにくい方も、

一緒に音楽を楽しめるように、様々な工夫をしています。

たとえば…



手話通訳があります。



客席の照明を完全に暗くしません。



上演中に休憩が必要になった場合は、客席の外に出て休憩できます。



席に戻りづらい場合や、一時的に席を移動したい場合にお座りいただけるフリーエリアがあります。

途中で席に戻ることもできます。

ホワイエにカームダウンスペースがあります。



ヒアリンググループ、音を振動に変換する

機器（タッチ・ザ・サウンド・ピクニック）や字幕タブレット、



レーザ網膜投影視覚支援機器があります。



点字・拡大文字・白黒反転の曲目リストの用意や、

イヤーマフの貸し出しがあります。

ご注意ください



ホールの中では食べたり飲んだりできません。



公演の写真撮影、録音、録画はできません。



携帯電話やアラーム付き腕時計などは電源を切りましょう。



コンサートが始まる前にトイレに行っておきましょう。

どうしてもトイレに行きたくなったら、他の人の邪魔にならないように、そっと行きましょう。



演奏している間は座りましょう。

立ち上がると、後ろの人が見られなくなります。

演奏の途中で休憩が必要になったら、そっと客席の外に出て大丈夫です。



ステキな演奏には

拍手をしましょう。

演奏が終わった時に、たくさんの拍手をしましょう。

プログラム Program

- 1 モーツァルト：オペラ『フィガロの結婚』序曲
- 2 J. シュトラウス II：ワルツ「春の声」Op.410
- 3 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 Op.18 より 第1楽章
- 4 ドヴォルザーク：スラブ舞曲第1番 ハ長調 Op.46-1
- 5 ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調 Op.95「新世界より」より 第4楽章

MOZART: Overture to Le nozze di Figaro

J.STRAUSS II: Frühlingsstimmen, Op.410

RACHMANINOFF: Piano Concerto No.2 in c minor, Op.18-1st movement

DVOŘÁK: Slavonic Dance No.1 in C major, Op.46-1

DVOŘÁK: Symphony No.9 in e minor, Op.95 "From the New World"-4th movement

出演 Performers

指揮：三ツ橋敬子

ピアノ：中島英寿 *第20回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

ナビゲーター：桜井しおり（東京文化会館ワークショップ・リーダー）

ろうナビゲーター：Sasa-Marie、Yumiko Mary Kawai

Conductor: MITSUHASHI Keiko

Piano: NAKAJIMA Hidekazu

*1st prize and Audience Award of Piano section
at the 20th Tokyo Music Competition

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

MC: SAKURAI Shiori (Tokyo Bunka Kaikan Workshop Leader)

DEAF/Sign Navigators: Sasa-Marie, Yumiko Mary Kawai

楽しむために



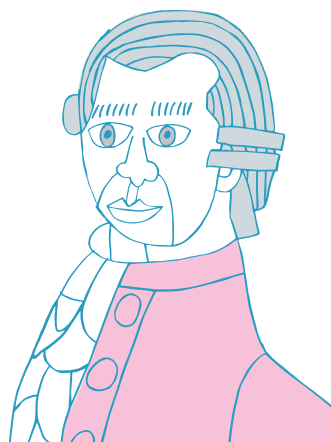
きよくもくかいせつ 曲目解説 Program notes

text by 飯田有抄 (クラシック音楽ファシリテーター)

今日のコンサートでは、
元気なリズムや、流れるように美しいメロディーが登場する名曲を、
オーケストラの演奏でたっぷりとお楽しみください。

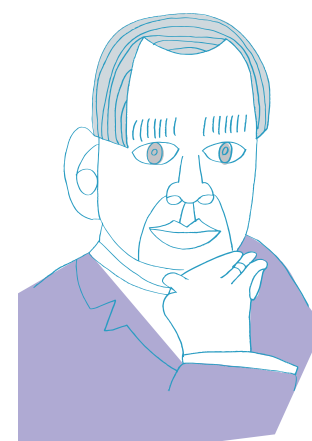
1 モーツァルト： オペラ『フィガロの結婚』序曲

オペラ（歌劇）とは歌で物語を進める劇ですが、その始めに「序曲」が演奏されます。オーケストラがワクワクするような音楽で、これから始まる物語を予感させます。モーツァルト（1756～1791）が作ったオペラ『フィガロの結婚』は、もうすぐ結婚をひかえたフィガロとスザンナ、そこに横入りしようとするズルい伯爵たちが登場する愉快な劇です。序曲は明るく元気いっぱいにオーケストラの響きが広がります。



2 J. シュトラウス II： ワルツ「春の声」Op.410

ワルツとは3拍子で軽やかに進む踊りの曲です。作曲者のJ. シュトラウス II（1825～1899）が活躍していたころのウィーンでは、人々が夜通し踊り続ける舞踏会が盛んで、J. シュトラウス II はワルツの傑作を次々と生み出し、「ワルツ王」と呼ばれました。この曲は、春の喜びに満ちたメロディーや心弾むリズムで満ちています。鳥の声のようなフルートの音色も聞こえます。



3 ラフマニノフ： ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 Op.18 より 第1楽章

ラフマニノフ（1873～1943）はとても大きな手を持ち、ピアノが上手でした。彼が28歳で作った「ピアノ協奏曲第2番」は、思うように作曲ができず苦しかった時期を乗り越えて、元気を取り戻したラフマニノフの代表作です。ピアノが奏でる静かな和音で始まり、オーケストラがたっぷりとしたメロディーを奏で、胸を打つような力強い音楽へと発展していきます。

4 ドヴォルザーク： スラブ舞曲第1番 ハ長調 Op.46-1

思わず踊りたくなるようなリズムカルなこの曲は、チェコの作曲家ドヴォルザーク（1841～1904）が作りました。もともとは二人で弾くピアノ連弾曲として作られ、楽譜が発売されると大ヒット！すぐにオーケストラ用にも編曲されました。この曲によって、ドヴォルザークの名は一気に広まりました。スラブとは、ヨーロッパの東部から中央部に暮らす人々や、その文化のことです。



5 ドヴォルザーク： 交響曲第9番 ホ短調 Op.95 「新世界より」より 第4楽章

ドヴォルザークは51歳のとき、ニューヨークの音楽院の校長先生として招かれ、アメリカへ渡りました。この曲はその頃に書かれたもので、「新世界」とはアメリカのことなのです。ところでドヴォルザークは、鉄道オタクでした！列車の種類や時刻表を丸暗記していたそうです。この曲は、ゆっくりと蒸気機関車が動き出すように始まり、やがてホルンとトランペットが高らかにメロディーを奏で、大陸の情景を描き出すように進んでいきます。

しゅつえん 出演 & プロフィール Performers & Profiles

しき みつはし けいこ
指揮：三ツ橋敬子
Conductor: MITSUHASHI Keiko



©Earl Ross

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。小澤征爾、小林研一郎、ジェルメティ、アツツェル、シュナイト、湯浅勇治、松尾葉子、高階正光の各氏に師事。第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初優勝。併せて聴衆賞、ペドロッチ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の3冠に輝く。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2009年 Newsweek Japan 誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出。N響、読響、東京フィルをはじめ国内主要オーケストラとの共演を重ねる。趣味はクルーズ。一級小型船舶操縦士として航海に出ている。

かんげんがく とうきよう こうきようがくだん
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra



©上野隆文

1911年創立。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督 チョン・ミョンフン、首席指揮者 A. バッティストーニ、特別客演指揮者 M. プレトニョフ。自主公演、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏、海外公演等で注目を集める。Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を、刈谷市と連携協定を結んでいる。
<https://www.tpo.or.jp/>

なかじまひでかず
ピアノ：中島英寿
Piano: NAKAJIMA Hidekazu



©加納典明

第20回東京音楽コンクールピアノ部門にて第1位併せて聴衆賞受賞。名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業後、桐朋学園大学音楽学部特待生を経て同大学ソリスト・ディプロマコース修了。これまでに飯塚麻希、小川公未、佐野 翠、田崎悦子、若林 顕の各氏に、室内楽を藤井一興氏、マスタークラスにてフィリップ・ジュジアーノ、ケヴィン・ケナー、シプリアン・カツァリス各氏他に師事。第67回全日本学生音楽コンクール名古屋大会や、第20回コンセル・マロニエ21ピアノ部門にて第2位、第7回桐朋ピアノ・コンペティション第1位受賞。東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京と共演、「ChildAid Asia」にて東京及びシンガポール、マレーシア公演に出演。レパートリーはバロックから近現代まで幅広い。

さくらい
ナビゲーター：桜井しおり
(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
MC: SAKURAI Shiori
(Tokyo Bunka Kaikan Workshop Leader)



©鈴木雅蔵

桐朋学園大学音楽学部卒業。2012年に音楽ワークショップ・アーティスト「おとみっく」を発足し、これまで500公演を実施、延べ4万人以上が参加。国内のみならず海外での音楽フェスティバルやプロジェクトに出演。2024年度に(一社)IROHAMOを設立し、アーティスト・ディレクターに就任。近年はオーケストラと共演し、子ども向け公演の司会も担当。(一財)地域創造音楽活性化事業コーディネーター。

がっき はいち オーケストラの楽器と配置 Orchestral Instruments & Arrangements

げんがっき もっかんがっき きんかんがっき
オーケストラには弦楽器、木管楽器、金管楽器、

だ がっき いろいろ しゅるい がっき
打楽器など色々な種類の楽器がずらり。

おお にんじよう えんそうしや いっしよ えんそう
多いときは100人以上の演奏者が一緒に演奏をすることもあって、

しきしや か
指揮者も欠かせません。

メロディやハーモニー、ちが ねいろ かさ あ たさい おんがく う
違う音色が重なり合うことで、多彩な音楽が生まれます。

がっき なら びた はいち きよく えんそうかい か
※楽器の並び方(配置)は曲や演奏会によって変わります。

